

第21回ふるさと岡崎メディアコンクール 最優秀賞作品概要

【生涯学習部門】

該当なし

【学校教育教材部門】

○ビデオ教材「給食のひみつを大公開」

対象：全小 教科：家庭科

矢作西小学校 ^{みうら} ^{けいな}
三浦 恵奈

「岡崎市の給食は給食センター方式で作られているため、子どもたちに調理の様子や調理員の思いなどが伝わりにくい。

この作品を通して、給食がどのように作られているかを知り、食に関する興味や知識を深めるだけでなく、作っている人の苦労や思いなども感じてくれれば」と制作者の先生は考えたそうです。

いつも食べている給食の裏側を知ることができる素晴らしい教材です。5人の審査員満場一致で最優秀賞に選出されました。



ビデオ教材「Trip to Okazaki Castle」

対象：中2 教科：英語

矢作北中学校 ^{あさい} ^{なほ}
浅井 菜穂

英語を学ぶにあたり、生徒に身近なものであるということで岡崎城を舞台に制作された作品です。

実際に現場に赴く作品開発の熱意が高く評価されました。



【児童生徒作品部門】

(小学校の部)

該当なし

(中学校の部)

○ビデオ教材

「今も昔も愛される岡崎は地形と人が産んだ?!」

対象：全中

城北中学校 ^{まつうら} 松浦 ^{なおき} 直樹

岡崎城が今の場所にできた背景には何があったのか？その歴史的経緯をカメとヤモリの掛け合いという流れの中で細かな点まで解説していて、とても勉強になる作品です。

ナレーションが合成音声でなく録音したものを使用していればより親しみやすい作品になっていたとの講評をもらいました。



○ビデオ教材「SOZOグループディスカッション」

対象：全中

翔南中学校 マルチメディア部A班

^{おおぎ} 大木 ^{あおと} 葵翔

翔南中学校では学年や学級で毎回テーマを決め、各学級でグループごとの話し合い活動を行う「SOZOタイム」を設けています。

作品ではこの「SOZOタイム」についての説明が行われており、初めて活動に取り組む教員や生徒へのテキストとなっています。



(高校の部)

該当なし